構造用合板張耐震補強壁 実績報告書作成のご案内

実績報告書は、当該技術の使用実績を把握するため、日合連においてとりまとめ るよう、<u>技術評価更新時(2019(令和元)年12月2日)に、日本建築防災協会から</u> 指導を受けたものです。

2019(令和元)年12月2日以降に設計・施工された物件につきましては、工事完 了後1か月以内に日合連あてご提出願います。

報告書作成の大まかな流れ

・実績報告書は、物件ごとに、「設計者」「施工者」の両者で、耐力壁資格制度 Web サイトの 報告書フォームに入力して頂きます。

・「設計者」「施工者」の両者が同一の報告書フォームに入力するために、キーコードを介して 当該報告書フォームを「設計者」「施工者」のそれぞれに関連付けます。

・以下に、先に「設計者」が報告書フォームに入力し、次に「施工者」が入力する手順を示しま す。(「施工者」→「設計者」の順で入力することも可能です)



【1】<u>ログイン</u>(①、②のどちらからでも<u>【2】</u>へ。)

① 日合連 Web サイト トップページ

https://www.jpma.jp/

構造用合板張り耐力壁 日合連登録・大臣認定

建築的災協会任意評価 措造用合板張り 耐定補洗壁	大臣認定 厚12mm構造用合板 壁倍率の認定取得	国交者告示 構造用合板副力壁の 告示が変わりました	
	認定書(写)支付申請	告示変更內容 占	
実結報告書 提出			
			<u>[2</u>]

▶ ② 耐力壁資格制度 Web サイト トップページ

https://www.bearingwall.jp/

耐力壁資料	各制度
設計者、施工者のどちらか該当す	る方を選んで申請してください。
設計者	施工者
申請 このサイトで送信する情報は、SSL暗号化抗	甲前
会員口 Copyright © 2021 if 技	グイン J盤 All rights reserved.

【2】耐力壁資格者ページ ログイン

https://www.bearingwall.jp/member/login

●報告書フォームは、物件ごとに、「設計者」「施工者」の両者で入力。「設計者」「施 工者」それぞれで入力箇所が異なる。⇒【4-1】報告書作成の手順を参照。

●以下、先に「設計者」が報告書を入力し、次に「施工者」が入力する手順で説明。

(「施工者」→「設計者」の順で入力することも可能)

●種別選択「<u>設計者」を選択</u>。

●会員登録時のメールアドレス、パスワードを入力

●「ログイン」をクリック。 ⇒【3】へ。



動作保証ブラウザ:Internet Explorer 9以上、Google Crome、Firefox

© 2021 耐力壁資格管理データベース All rights reserved.

対力壁資格者ページへ遷移 経 <u>績報告書」をクリック</u> ⇒【4】へ。		
耐力壁資格者ページ	● ログアウト	
HOME 実績報告書		
2021年8月26日		
日頃より日合連討力壁資格制度へのご理解ご協力を思り厚く御礼申し上げます。		
さて、本会員サイトにつきまして、8月26日(木)にリニューアルいたしました。		
会員登録債報の修正や実績報告書の提出・管理がWebサイト上で行えるようになりました。		
会員登録情報につきまして、ご住所に間違いがないか、再度ご確認願います。特に丁 で、この機会にご修正ください。	昏地が空欄の場合、日合連からの郵送のご案内が不達となりますの	
実績報告書のご提出につきましては、設計者・施工者両者で作成いただく形式となっ	ております。	

【4】<mark>報告書の新規作成</mark>

●報告書作成の手順の説明は「報告書作成の手順」をクリック」 ⇒ [4-1]へ。 ●報告書を作成するには、「新規作成」をクリック」 ⇒ [5]へ。

	ページ						
HOME 実績報告書							
0	4−C−‡	: 半角英数字	a , =-	ーコードを開く	▲ 新規	作成	
実績報告書は、設計者と) 計者・施工者のそれぞれ 手順」をクリックして、	施工者の両者で入力し、日合連想 ビバートナーと称します。実績報	ちて提出して頂きます。設計 服告書はキーコードによって,	者・施工者それぞれで入 パートナーで共有されま	.力箇所が異なります :す。詳しい使い方は	。本ページでは、 下記「報告書作成の	設 の	
☑ 報告書作成	の手順						
実績報告書一覧							
実績報告書 一覧	-						
管理番号 ≑	工事請負契約日 ≑	工事竣工日 ≑	都道府県 ≑	所在地 ≑	工事名称	編集	
】報告書作 告書作成の手	成の手順						
1] 報告書作 服告書作成の手 コードがない場合 20 ~新規版 ボタ	<mark>成の手順</mark> 順 (新規作成する場合) ンから報告書を開きます。						
1] 報告書作 因告書作成の手 コードがない場合 この / 新規作成 ボタ 詰のうち、自分が入た ます。	成の手順 順 (新規作成する場合) ンから報告書を開きます。 はべき箇所を入力し、ペー:	ジ下部にある & キーコー	- ド送信 ボタンをクリ	リック。バートナー	-となる報告者へ	キーコード	を送
 報告書作 報告書作 日ードがない場合 ア新規(報本ター) (1) 新規(報本ター) (1) 新規(報本ター) (1) 新規(報本ター) (1) 新規(報本ター) (1) 新規(報本ター) (1) 新規(報本の) (1) 新規(報本の) (1) 新規(報本の) (1) 新規(報本の) (1) 新規(報本の) (1) 新加(1) (1) 新加(1)	成の手順 順 (新規作成する場合) ンから報告書を開きます。 すべき箇所を入力し、ペー すべき箇所の入力が全て終 る場合は、▲下書き保存	ジ下部にある & キーコー わり、問題がなければ イ ボタンを使って入力内容	- 下送信 ポタンをクリ ● 現出 ポタンをクリ を保存してください。	リック。パートナー ックして日合連へ	-となる報告者へ 報告書を提出し	<キーコード: ます。	を送
 報告書作 報告書作成の手 ドがない場合 「新規作成」ボター 「新規作成」ボター 「新規作成」ボター 「「新規作成」ボター 「「「「「」」」 「「」」 「」」 「」 「」 「」 「」 「」」 「」 「」 「」」 「」」 「」 <	成の手順 順 (新規作成する場合) ンから報告書を開きます。 すべき箇所を入力し、ペー: すべき箇所の入力が全て終 る場合は、▲下書き保存	ジ下部にある & キーコー わり、問題がなければ ボタンを使って入力内容	- F送信 ボタンをクリ ◆ 堀田 ボタンをクリ を保存してください。	リック。パートナ- ックして日合連へ	- となる報告者へ 報告書を提出し	.≠−⊐−ド [;] ます。	を送
 報告書作 報告書作 報告書作 スの 新規作版 ボタ (1) 新規作版 ボタ (1) 新規作版 ボタ (1) 「新規作版 (1) 「新規作版 (1) 「新規作版 (1) 「「「「「「」」」 (1) 「「」」 (1) 「「」」 (1) 「」」 (1) 「」」<td>成の手順 順 (新規作成する場合) ンから報告書を開きます。 1すべき箇所を入力し、ページ 1すべき箇所の入力が全て終 でる場合は、 ・ 下書き保存</td><td>ジ下部にある ��キーコー わり、問題がなければ <mark>イ</mark> ボタンを使って入力内容 20桁のキーコードを、上計</td><td> ▶送信 ボタンをクリ ◆提出 ボタンをクリ を保存してください。 記のキーコード欄に入 </td><td>Jック。パートナ- ックして日合連へ </td><td>となる報告者へ 報告書を提出し ドを開く ボタ</td><td>キーコード? ます。 ?ンから報告</td><td>を送書を</td>	成の手順 順 (新規作成する場合) ンから報告書を開きます。 1すべき箇所を入力し、ページ 1すべき箇所の入力が全て終 でる場合は、 ・ 下書き保存	ジ下部にある ��キーコー わり、問題がなければ <mark>イ</mark> ボタンを使って入力内容 20桁のキーコードを、上計	 ▶送信 ボタンをクリ ◆提出 ボタンをクリ を保存してください。 記のキーコード欄に入 	Jック。パートナ- ックして日合連へ 	となる報告者へ 報告書を提出し ドを開く ボタ	キーコード? ます。 ?ンから報告	を送書を
 報告書作成の手 ()報告書作成の手 ()新規作成 ボター ()「新規作成 ボター ()「新用成 ボター ()「新規作成 ボター ()「新規作成 ボター ()「新規作成 ボター ()「新規作成 ボター ()「新規作成 ボター ()「新用成 ボター ()」「新用成 ボター ()」「新用	成の手順 順 (新規作成する場合) ンから報告書を開きます。 すべき箇所の入力が全て終 る場合は、▲下書き保存 いたメールに記載されている。 すべき箇所 (パートナーの) する。 こる場合は、▲下書き保存	ジ下部にある & キーコー わり、問題がなければ ボタンを使って入力内容 20桁のキーコードを、上 既入力箇所以外の箇所)の ボタンを使って入力内容	 下送信 ボタンをクリ ・提出 ボタンをクリ ◆提出 ボタンをクリ を保存してください。 記のキーコード欄にみ の入力が全て終わり、 を保存してください。 	Jック。パートナ- ックして日合連へ 、カし、 ヘ キーコ 問題がなければ	となる報告者へ 報告書を提出し ドを開く ボタ ・「次報」 ボタン	、キーコード: ます。 ?ンから報告; をクリックし	を送 書 <i>し</i> て
 報告書作成の手 ()報告書作成の手 ()「新規(市成)」ボター ()「新規(市成)」ボター ()「新規(市成)」ボター ()「新規(市成)」ボター ()「新規(市成)」ボター ()「新規(市成)」ボター ()「新規(市成)」 ()「新ת(市成)」 ()「新ת(市成)」 ()「新ת(市成)」 ()「新ת(市成)」 ()「新ת(市成)」 ()「新ת(市成)」 ()「新ת(市成)」 (成の手順 (新規作成する場合) ンから報告書を開きます。 すべき箇所を入力し、ペー: すべき箇所の入力が全て終 でる場合は、 ・ 下書き保存	ジ下部にある & キーコー わり、問題がなければ ボタンを使って入力内容 20桁のキーコードを、上 既入力箇所以外の箇所)の ボタンを使って入力内容	 ▶ 送信 ボタンをクリ ◆ 提出 ボタンをクリ ◆ 提出 ボタンをクリ を保存してください。 記のキーコード欄に入 の入力が全て終わり、 を保存してください。 	リック。パートナー ックして日合連へ 、カし、 ۹ キーコ 問題がなければ	-となる報告者へ 報告書を提出し -ドを開く ボタン	・キーコード ² ます。 をクリックし	を送 書を <i></i> て

【5】報告書フォームへの入力《「設計者」の画面》

耐力壁資格者	5ページ						
HOME 実績報告 <u>実績報告書一覧</u> 実績報告書 詳	書 実績報告書 詳細 細 (設計者用)]					
管理番	号	自動入力		提出年月日	自動入力		
工事請負募	與約日	年月日		工事竣工日(工事完了日)	年月日	影 入	と計者 ↓力箇所
工事名称	工事名称						
所在地	所在地〒		~	丁番地以下(例:1-2-3)			
設計者氏名施工者氏名	日合連・設計者	テスト	会社名	日本合板工業組合連合会	日合連登録番号 日合連登録番号	^{BW} ●● ⇒自1	助入力

設計者の条件を満たしている(所定の講習会を受講した建築士、かつ日合連登録者) ○はい ○いいえ 適用条件(建物種類、階数、面積など)の範囲内の建物である ○はい ○はい ○いいえ 事前調査を入念に行い、補強する部分の周囲には部材の劣化がないことを確認した ○はい ○ない <	検査項目	チェック
適用条件(建物種類、階数、面積など)の範囲内の建物である ○はい ○いいえ 事前調査を入念に行い、補強する部分の周囲には部材の劣化がないことを確認した ○はい ○劣化有 ③で事前調査時に劣化が発見された場合には、適切に補修・交換等を指示した ○はい ○いいえ 補強後の耐震診断の上部構造評価点は1.0以上である ○はい ○いいえ 他の耐震補強壁等と併用する場合、基準耐力の上限値を超えないことを確認した ○はい ○比いえ 112建告第1460号に適合する柱頭・柱脚仕口接合部の補強をするよう設計した ○はい ○いいえ ⑥が実施できない場合、基礎仕様と接合強度に応じた低減を考慮した ○はい ○いいえ 厚違な、基礎には当する仕様である ○はい ○いいえ 厚さ24mmの構造用合板を張る補強壁の場合は、基礎に相当する仕様である ○はい ○該当無	設計者の条件を満たしている(所定の講習会を受講した建築士、かつ日合連登録者)	○はい ○いいえ
事前調査を入念に行い、補強する部分の周囲には部材の劣化がないことを確認した ○はい ○劣化有 ③で事前調査時に劣化が発見された場合には、適切に補修・交換等を指示した ○はい ○はい ○いいえ 補強後の耐震診断の上部構造評価点は1.0以上である ○はい ○しない ○しいいえ ○しない ○しない ○しいいえ ○しない ○しない	園用条件(建物種類、 階数、面積など)の範囲内の建物である	0はい 0いいえ
③で事前調査時に劣化が発見された場合には、適切に補修・交換等を指示した ○はい ○いいえ 補強後の耐震診断の上部構造評価点は1.0以上である ○はい ○いいえ 他の耐震補強壁等と併用する場合、基準耐力の上限値を超えないことを確認した ○はい ○該当無 H12連告第1460号に適合する柱頭・柱脚仕口接合部の補強をするよう設計した ○はい ○いいえ ⑥が実施できない場合、基礎仕様と按合強度に応じた低減を考慮した ○はい ○いいえ 夏磁は、基礎I又は基礎IIに相当する仕様である ○はい ○いいえ 厚さ24mmの構造用合板を張る補強壁の場合は、基礎Iに相当する仕様である ○はい ○該当無	事前調査を入念に行い、補強する部分の周囲には部材の劣化がないことを確認した	○はい ○劣化有
補強後の耐震診断の上部構造評価点は1.0以上である ○はい ○いいえ 他の耐震補強堅等と供用する場合、基準耐力の上限値を超えないことを確認した ○はい ○該当無 H12建告第1460号に適合する柱頭・柱脚仕口接合部の補強をするよう設計した ○はい ○いいえ ⑥が実施できない場合、基礎仕様と接合強度に応じた低減を考慮した ○はい ○いいえ 夏磁は、基礎以口は基礎IIに相当する仕様である ○はい ○いいえ 厚さ24mmの構造用合板を張る補強壁の場合は、基礎IE相当する仕様である ○はい ○該当無	③で事前調査時に劣化が発見された場合には、適切に補修・交換等を指示した	○はい ○いいえ
他の耐震補強壁等と併用する場合、基準耐力の上限値を超えないことを確認した ○はい ○該当無 H12連告第1460号に適合する柱頭・柱脚仕口接合部の補強をするよう設計した ○はい ○いいえ ⑥が実施できない場合、基礎仕様と接合強度に応じた低減を考慮した ○はい ○いいえ 夏礎は、基礎収は基礎IIに相当する仕様である ○はい ○いいえ 厚さ24mmの構造用合板を張る補強壁の場合は、基礎Iに相当する仕様である ○はい ○該当無	#強後の耐震診断の上部構造評価点は1.0以上である	○はい ○いいえ
H12連告第1460号に適合する柱頭・柱脚仕口接合部の補強をするよう設計した ○はい ○いいえ ⑥が実施できない場合、基礎仕様と接合強度に応じた低減を考慮した ○はい ○いいえ 基礎は、基礎以は基礎川に相当する仕様である ○はい ○いいえ 厚さ24mmの構造用合板を張る補強壁の場合は、基礎川に相当する仕様である ○はい ○該当無	也の耐震補強壁等と併用する場合、基準耐力の上限値を超えないことを確認した	○はい ○該当無
⑥が実施できない場合、基礎仕様と接合強度に応じた低減を考慮した ○はい ○いいえ 基礎は、基礎IQは基礎IIに相当する仕様である ○はい ○いいえ 厚さ24mmの構造用合板を張る補強壁の場合は、基礎Iに相当する仕様である ○はい ○該当無	H12建告第1460号に適合する柱頭・柱脚仕口接合部の補強をするよう設計した	○はい ○いいえ
基礎は、基礎I又は基礎IIに相当する仕様である ○はい ○いいえ 厚さ24mmの構造用合板を張る補強壁の場合は、基礎Iに相当する仕様である ○はい ○該当無	Dが実施できない場合、基礎仕様と接合強度に応じた低減を考慮した	○はい ○いいえ
厚さ24mmの構造用合板を張る補強壁の場合は、基礎Iに相当する仕様である 〇はい 〇該当無	基礎は、基礎I 又は基礎IIに相当する仕様である	○はい ○いいえ
	厚さ24mmの構造用合板を張る補強壁の場合は、基礎Iに相当する仕様である	○はい ○該当無

2、施工者用チェック項目

検査項目	チェック
① 施工者の条件を満たしている(経験のある大工又は工務店社員、かつ日合連登録者)	○はい ○いいえ
② 事前調査時に劣化が認められた部位は、設計図書に従い適切に補修・交換等を実施した	○はい ○いいえ
③ 施工時に新たな劣化部位を発見した場合は、設計者に連絡し、適切に補修等を実施した	○はい ○いいえ
④ 補強に用いる構造用合板には、日本合板工業組合連合会傘下会社のJAS印が印字されている	○はい ○いいえ
⑤ 補強に用いる構造用合板の厚さは、12mmまたは24mmである	○12mm ○24mm ○その他
◎ 構造用合板を留め付けるくぎは、JIS A5508に規定するCNくぎである	○はい ○いいえ
◎ 受材、添え柱、胴つなぎ材など、補強に用いる木材は設計図書通りの寸法、本数である	○はい ○いいえ
⑧ 受材、添え柱、胴つなざ材などを留め付けるくざは、JIS A5508に規定するNくぎである	○はい ○いいえ
③ 柱頭柱脚仕口接合部に用いる金物は、設計図書通りの規格、個数である	○はい ○いいえ
⑩ 補強壁は、設計図書通りの仕様で、構造用合板、受材等、金物等を適切に施工した	○はい ○いいえ
補足,連絡事項	

補強壁の仕様	長さ(m)	補強壁の仕様	長さ (m)	、 入 フ
合板12mm上下開口壁、両側柱大壁仕様	m	⑪ 合板12mm無關口壁、大璧仕様	m	
合板12mm上下開口壁、両側柱真壁仕様	m	⑫ 合板12mm無開口壁、入隈大壁仕様	m	
合板12mm上下開口壁、間柱補強大壁仕様	m	⑫ 合板12mm無開口壁、真壁床勝ち仕様	m	
)合板12mm上下開口壁、間柱補強真壁仕様	m	④ 合板12mm無開口壁、真壁床勝ち600mm仕様	m	
)合板12mm上下開口壁、柱間隔2P大壁仕様	m	⑮ 合板24mm無開口壁、大壁仕様	m	
)合板12mm上下開口壁、柱間隔2P真壁仕様	m	⑤ 合板24mm無開口壁、入隈大壁仕様	m	
)合板12mm上下開口壁、後施工柱大壁仕様	m	⑫ 合板24mm無開口壁、真壁床勝ち仕様	m	
》合板12mm上下開口壁、後施工柱真壁仕様1	m	@ 合板24mm無開口壁、真壁床勝ち600mm仕様	m	
)合板12mm上下開口壁、後施工柱真壁仕様2	m			
〕合板12mm上下開口壁、入隈大壁仕様				

●報告書フォームのうち、「設計者」が入力すべき箇所を入力し、ページ下部にある 「キーコード送信」ボタンをクリック。パートナーとなる報告者(「施工者」)へキーコード を送る。 ⇒【6】へ。

	自動変換されます。 払張子は .jpg .png .pdf	かアッフロート可能。	THE READ AND AND	
の施工節所の写直	廊付填目		画像源付	
② 耐震補強で使用した合板のJAS印・メーカー名が	小見える写真		アップロード	
← 一覧に戻る] 下書き保存 4 キ	ニーコード送信	┍╸提出	[7]
	9 2021 耐力壁資格管理データベース All rig	hts reserved.		
6] キーコード送信				
「キーコード送信」ボタンを	クリックすると以下の	ポップアップ画面	īが表示。	
「送信先メールアドレス」欄	に、パートナーとなる	る報告者(「施工:	者」)のメールア	ドレ
、	重を送信する」をクリッ	った。		
対力壁資格者、一ジ キーコードを這	送信 キー、一ド:I3DIJO8UEb4KE	DcZkc4MhXh ×	₩ ログアウト	
現在の内容を下書。 内OME 実績報告書 実績報告書 ご信先メールアド	き保存のうえ、入力した 关 信先メールア 顔を送ります。 ^S レス	ドレスあてに実績報告書		
	この宛先へ依頼	を送信する 閉じる		
ミ績報告書 詳細 (設計者)				



【7】報告書提出《「設計者」の入力分のみ》

●報告書フォームのうち、「設計者」が入力すべき箇所の入力が全て終れば、「提出」 ボタンをクリックして日合連へ報告書を提出。(提出後も修正可能 ⇒【12】)

4、 画像添付 ① 施工箇所の写真及び ② 耐震補強で使用した合	城のNAS印・メーカー名が見える写真を	添付願います。		
※添付する画像のファイル名は、アップロード後	に自動変換されます。拡張子は .jpg .png	g .pdf がアップロード可能。		
	添付項目		画像添付	
① 施工箇所の写真			アップロード	
② 耐震補強で使用した合板のJASEP・メーカー	名が見える写真		アップロード	
←一覧に戻る	□ 下書き保存	& キーコード送信	┍╸提出	<u>[12]</u>
	© 2021 耐力壁資格管理データベース	All rights reserved.		
●提出が完了すると以下の	ポップアップ画面が	表示。		
www.bearingwall.jp の内容				
提出しました				
	ок			
●入力漏れがあると、上記	,のポップア ∖ プ画面	īが現れず、報台	吉書フォームに入力]漏
れ箇所が赤字表示されるの)で、再入力し、再度	「提出」をクリック	ク。 ⇒ <mark>[5]</mark> へ。	

●提出する前に入力を中断する場合は、、「下書き保存」ボタンを使って入力内容を保存。

【8】<mark>キーコード送信メール</mark> ●【6】のキーコード送信により、「施工者」あてに以下のメールが送信。 ●受信した「施工者」は、<u>メール内の URL</u>をクリック ⇒<u>[9]</u>へ。

[耐力壁資格管理] 実績報告書 作成のお願い	
耐力壁資格管理 宛先 info@jpma.jp	 今 返信 今 転送 2021/09/09 (木) 11:41
<u>info@jpma.ip</u> 様	
いつもお世話になっております。	
■ 耐力壁資格管理サイレにて、日本合板工業組合連合会の日合連・設計者様が実績	遺報告書を作成しました。 、またすに見い、すべきです。
実績報告書 URL ヘアクセスしキーコードを入力の上、報告書を追記・完成し、日合	う連めて に提出してくたさい。
【管理番号】 CR-	
【パートナー子社】日本合板工業組合連合会	
【バートナー氏名】日合連・設計者	
【バートナー種別】設計者	
[キーコ/ド] I3DIJO8UEb4KDcZkc4MhXh ⇒コピー&ペースト	,
実績報告書 URL	
https://www.bearingwall.jp/member/report	
┃ ※ 上記パートナー情報と同じメールアドレスでロクインしている場合は、一度ロクア ┃	^ワトする必要かあります。
耐力壁資格制度(日本合板工業組合連合会)	
E-Mail <u>info@jpma.jp</u>	
ホームページ <u>https://www.bearingwall.jp/</u>	
TEL 03-5226-6677	
FAX 03-5226-6678	
住所 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2丁目21番2号	
┃ ブライム水道橋8階	

●【6】でキーコードを送信した「設計者」あてにも、確認のため送信済のメールが届く。

[耐力壁資格管理] 実績報告書 作成のお願い



キーコード送信の手続きをしていただき、ありがとうございました。 パートナー様へ下記内容を送信いたしました。

<u>info@jpma.jp</u> 様

いつもお世話になっております。 耐力壁資格管理サイトにて、日本合板工業組合連合会の日合連・設計者様が実績報告書を作成しました。 実績報告書 URLヘアクセスしキーコードを入力の上、報告書を追記・完成し、日合連あてに提出してください。

【管理番号】 CR-

【パートナー会社】日本合板工業組合連合会
 【パートナー氏名】日合連・設計者
 【パートナー種別】設計者
 【キーコード】 I3DIJO8 UEb4KDcZkc4MhXh

実績報告書 URL

<u>https://www.bearingwall.jp/member/report</u> ※上記パートナー情報と同じメールアドレスでログインしている場合は、一度ログアウトする必要があります。

このメールは、自動応答メールにより配信しております。

耐力壁資格制度(日本合板工業組合連合会) E-Mail <u>info@jpma.jp</u> ホームページ <u>https://www.bearingwall.jp/</u> TEL 03-5226-6677 FAX 03-5226-6678 住所 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2丁目21番2号 プライム水道橋8階

<mark>【9】</mark> キーコードを入力	し、報告書	「フォー	ム(設計者入力済)	を開く		
https://www.bearingwa	ll.jp/membe	er/repor	<u>t</u>			
●メールを受信した「	施工者」は	、メーノ	レ記載の URL ヘロ	グイン。		
●なお、「設計者」と同	同じメールフ	アドレス	でログインしている	る場合は、一度ログア	アウトし	
てから、再度、「施工:	者」としてロ	リグイン				
 ●報告書作成の手順 	の説明け	「報生」	。 ≧作成の手順」をク	11ック」 ⇒【1 – 1】2	、	
●秋日目下成の子順	マードた /		<u>」FIXの子順」とノ</u> ビ」撋にっピの	<u></u>	ゝ。 _にた問/」	
	<u>rz</u> ,					
<u>~~</u> ⇒[10]	\sim_{\circ}					
					グアウト	
耐力壁資格者ページ						
HOME 実績報告書						
2	キーコード	半角英数字	Q, ‡-	-コードを開く 🥜 新規作	成	
実績報告書は、設計者と施工者の両	诸で入力し、日合連さ	あて提出して頂	きます。設計者・施工者それぞれでフ	力箇所が異なります。本ページでは、設		
計者・施工者のぞれぞれをパートナ 手順」をクリックしてください。	ーと称します。実績報	服告書はキーコ	ードによってパートナーで共有されま	Eす。詳しい使い方は 、 記「報告書作成の		
✓ 報告書作成の手順	Ę					
	_					
実績報告書 一覧					``	10]
実績報告書一覧					<u> </u>	
管理番号 ◆ 工事請負契約日 ◆	工事竣工日 ≑	都道府県 💠	所在地 🗢	工事名称	編集	
CR- CR- 2021年08月01日	2021年08月29日	東京都東京都	千代田区神田三崎町2 千代田区神田三崎町2-21-2	実績報告テスト210830一部修正0831	編集	

© 2021 耐力壁資格管理データベース All rights reserved.

【10】報告書フォームへの入力《「施工者」の画面》

● ログアウト 耐力壁資格者ページ HOME 実績報告書 実績報告書 一覧 実績報告書 詳細 実績報告書 詳細 (施工者用) 管理番号 CR-提出年月日 自動入力 施工者 入力箇所 工事請負契約日 工事竣工日(工事完了日) 2021-08-01 2021-08-31 設計者の 工事名称 210902テスト 未入力箇所 所在地 東京都 ~ 1010061 や修正箇所 千代田区神田三崎町 2 - 2 1 - 2 を入力 設計者氏名 会社名 日合連登録番号 施工者氏名 日合連・施工者テスト 会社名 日本合板工業組合連合会 日合連登録番号 BW ●● ⇒自動入力

1、設計者用チェック項目

検査項目	チェック
① 設計者の条件を満たしている(所定の講習会を受講した建築士、かつ日合連登録者)	○はい ○いいえ
② 適用条件(建物種類、階数、面積など)の範囲内の建物である	○はい ○いいえ
③事前調査を入念に行い、補強する部分の周囲には部材の劣化がないことを確認した	○はい ○劣化有
→③で事前調査時に劣化が発見された場合には、適切に補修・交換等を指示した	○はい ○いいえ
③ 補強後の耐震診断の上部構造評価点は1.0以上である	○はい ○いいえ
⑤ 他の耐震補強壁等と併用する場合、基準耐力の上限値を超えないことを確認した	○はい ○該当無
⑥ H12建告第1460号に適合する柱頭・柱脚仕口接合部の補強をするよう設計した	○はい ○いいえ
→ ⑥が実施できない場合、基礎仕様と接合強度に応じた低減を考慮した	○はい ○いいえ
⑦ 基礎は、基礎1又は基礎11に相当する仕様である	○はい ○いいえ
⑧ 厚さ24mmの構造用合板を張る補強壁の場合は、基礎に相当する仕様である	○はい ○該当無
補足,連絡事項	

	チェック
庖工者の条件を満たしている(経験のある大工又は工務店社員、かつ日合連登録者)	○はい ○いいえ
事前調査時に劣化が認められた部位は、設計図書に従い適切に補修・交換等を実施した	○はい ○いいえ
庖工時に新たな劣化部位を発見した場合は、設計者に連絡し、適切に補修等を実施した	○はい ○いいえ
哺強に用いる構造用合板には、日本合板工業組合連合会傘下会社のJAS印が印字されている	○はい ○いいえ
_{嘲強に用いる構造用合板の厚さは、12mmまたは24mmである}	○12mm ○24mm ○その他
躊造用合板を留め付けるくぎは、JIS A5508に規定するCNくぎである	○はい ○いいえ
受材、添え柱、胴つなぎ材など、補強に用いる木材は設計図書通りの寸法、本数である	○はい ○いいえ
受材、添え柱、胴つなぎ材などを留め付けるくぎは、JIS A5508に規定するNくぎである	○はい ○いいえ
注 頭柱脚仕口接合部に用いる金物は、 設計図書通りの規格、 個数である	○はい ○いいえ
補強壁は、設計図書通りの仕様で、構造用合板、受材等、金物等を適切に施工した	○はい ○いいえ

者

箇所

3、使用した補強壁の仕様(使用した補強壁の仕様ごとに、その概算の長さ(m)を記入してください)

補強壁の仕様	長さ (m)	補強壁の仕様	長さ (m)
① 合板12mm上下開口壁、両側柱大壁仕様	m	⑧ 合板12mm無開口壁、大壁仕様	m
② 合板12mm上下開口壁、両側柱真壁仕様	m	② 合板12mm無關口壁、入隈大壁仕様	m
③ 合板12mm上下開口壁、間柱補強大壁仕様	m	② 合板12mm無開口壁、真壁床勝ち仕様	m
④ 合板12mm上下開口壁、間柱補強真壁仕様	m	④ 合板12mm無開口壁、真壁床勝ち600mm仕様	m
⑤ 合板12mm上下開口壁、柱間隔2P大壁仕様	m	⑮ 合板24mm無關口壁、大壁仕様	m
⑥ 合板12mm上下開口壁、柱間隔2P真壁仕様	m	⑥ 合板24mm無開口壁、入隈大壁仕様	m
⑦ 合板12mm上下開口壁、後施工柱大壁仕様	m	② 合板24mm無開口壁、真壁床勝ち仕様	m
⑧ 合板12mm上下開口壁、後施工柱真壁仕様1	m	@ 合板24mm無開口壁、真壁床勝ち600mm仕様	m
③ 合板12mm上下開口壁、後施工柱真壁仕様2	m		
⑩ 合板12mm上下開口壁、入隈大壁仕様	m		

●「施工者」は、

①施工箇所の写真ファイル

及び

②耐震補強で使用した合板の

JAS 印・メーカー名が見える写真ファイルを

アップロード。

●拡張子は jpg .png .pdf がアップロード可能。ファイルサイズは4MB程度まで。
 ●①施工箇所の写真、②合板の板面の写真、それぞれ1ファイルしかアップロードできません。このため、複数の施工箇所がある場合、代表的な施工箇所 1 箇所の写真でも構いません。合板写真は、日合連傘下メーカーの製品を使用して頂いていることを確認するためのものであり、最低1枚あれば十分です。

施工箇所の写真 及び ② 耐震補強で使 忝付する画像のファイル名は、アップ[用した合板のJAS印・メーカー名が見える写 コード後に自動変換されます。拡張子は .jpg	写真を添付願います。 g .png .pdf がアップロード可能。	\backslash			入力箇所
	添付項目			画像添付		
)施工箇所の写真				アップロード		
) 耐震補強で使用した合板のJAS印・>	メーカー名が見える写真			アップロード		
←一覧に戻る	🖺 下書き保存	ぬ。 キーコード送信		┍ 提出	N	
	•			×	\neg	

●報告書フォームのうち、「施工者」が入力すべき箇所の入力が全て終われば「提出」ボタンをクリックして日合連へ報告書を提出。 ⇒【11】へ。

●提出する前に入力を中断する場合は、、「下書き保存」ボタンを使って入力内容を保存。

●添付ファイルの例 ①施工箇所の写真の例









●入力漏れがあると、送信完了のポップアップ画面が現れず、報告書フォームに入 力漏れ箇所が表示されるので、再入力し、再度「提出」をクリック。 ⇒【10】へ。

【12】提出した報告書の確認・修正

●報告書を提出すると、資格者ページに「<u>実績報告書一覧</u>」が表示される。<u>修正が必</u> 要な報告書について「編集」をクリックし、実績報告書詳細画面へ。⇒【5】又は【10】

耐力壁資	格者ページ		\checkmark		(*)	コグアウト	
HOME 実	績報告書						
	2	キーコード	: 半角英数字	Q, ‡-	-コードを開く 🧳 新規作	■成	
実績報告書は、 計者・施工者の 手順しをクリッ	設計者と施工者の両者 それぞれをパートナー クレてくささい。	皆で入力し、日合連さ - と称します。実績報	あて提出して頂 服告書はキーコ	きます。設計者・施工者それぞれで入 ードによってパートナーで共存されま	、力箇所が異なります。本ページでは、話 す。詳しい使い方は下記「報告書作成の	ž)	
☑ 報告	着作成の手順						
実績報告書 -	-寛						
実績報告書	実績報告書一覧						
管理番号 ≑	工事請負契約日 🗘	工事竣工日 🗢	都道府県 💠	所在地 ≑	工事名称	編集	
CR-	2021年08月01日	2021年08月31日	東京都	千代田区神田三崎町2-21-2	210902テスト	編集	
	0004年00日04日	0001年00日00日	古古树				

© 2021 耐力壁資格管理データベース All rights reserved.

●実績報告書詳細画面で必要な修正を終えた後、「提出」ボタンをクリックして日合連 へ報告書を再提出。

4、画像添付	
① 施工箇所の写真 及び ② 耐震補強で使用した合板のJAS印・メーカー名が見える写真を添付願います。 ※添付する画像のファイル名は、アップロード後に自動変換されます。拡張子は .jpg .png .pdf がアップロード可能。	
派付項目	画像添付
 施工箇所の写真 	アップロード
② 耐震補強で使用した合板のJAS印・メーカー名が見える写真	アップロード
← 一覧に戻る ● 下書き保存 ● マーリード送信	┍╸提出

© 2021 耐力壁資格管理データベース All rights reserved.

以上。